

第6学年学級活動（2）指導案

1 題材名 「給食時間を見直そう

～学級ルールをつくろう！～

2 題材設定の理由

- 本題材は、学級の中にある諸問題に気付かせ、誰もが平等に損をすることのないルール（システム）を作り、自分もしくは全員で取り組み、学級を信頼し支え合いながら居心地よく楽しくすごせるようにしていこうという意欲や態度を養っていくことをねらいとしている。

また、本題材で見出した給食時間におけるシステムを学級のルールとして位置づけるきっかけとすることで、ルールの意味について考えたり、守っていこうとしたりして、社会性を育成することをねらいとしている。ルールを考える段階では、協調性や人権尊重の力を、ルールを実践していく段階では責任感や規範意識の力が高まると考えた。

本題材の実践後には、ルールに対し問題点も発生してくるであろう。そのときに、またルールの見直しをし、実践をしていく。そのサイクルで繰り返すことにより、児童一人一人が真剣に考えたり、自分の意見だけを押し通すのではなく折り合いをつけたりしながら結論にたどり着けるようになることを期待している。そうすることにより、他者とのかわりにより社会性の4つの観点（協調性、責任感、規範意識、人権尊重）がバランスよく高まり、学級集団のよりよい人間関係が築かれていくと考えた。

そこで、本題材は、給食時間における諸問題を解決するためのルールを考え、実践する中で、ルールの意味を理解し、協調してルールを守ることのよさに気づき、一人一人の社会性が育成される上で、意義があると考える。

- 本学級の児童は、明るく元気がいい。本学級では「YES WE CAN!～笑顔、責任、協力 一致団結」を合言葉に、さまざまな行事や活動に取り組んでいる。4月の話合いで、明るく、前向きに、みんなで力を合わせれば何でもできる学級を目指し、この学級目標に決まった。学級目標が決まったときには自然と拍手が沸き起こるほどの暖かい雰囲気のある学級である。しかしながら、普段の学校生活では、学級の仲間に対して傷つけるような言葉を投げかけたり、時間を守れず友だちや学級に迷惑をかけたりする児童がいる。そして、きまりが守れていない児童を注意することもなく、ルーズな雰囲気になってしまっている。特に、清掃活動、給食時間などでは、手順を都合よく変えたり、手を抜いたりして、仕事を責任を持って取り組む姿が見られない児童がいる。

そこで、5月に行われる運動会に向け、教師から組体操で学級児童全員でつくるピラミッドを成功させようという提案をした。「やればできた貯金箱」を用意し、ピラミッドが成功できたら貯金箱にボールを1つ入れることとし、目標を持って取り組んだ。組体操の成功の後も、みんなで行う内容を決め、取り組み、1学期に5つのボールを貯金することができた。目標を持って取り組むことのよさがわかり、みんなで頑張ったことが目に見える形に残すことで、次への意欲も高まってきている。

- 指導にあたっては、まず、事前の活動で、給食時間を振り返るためのアンケートをとり、児童がどのようなことを問題点としてとらえているか、実態把握を行う。次に、計画委員会を開き、アンケート結果から、給食時間の過ごし方において、話し合う必要があるものをしぼりこむ。また、道徳の時間において、「規則の尊重」の観点での学習を行い、ルールを守ることの大切さや規則やきまりの意義について考えさせる。事中の活動では、事前のアンケート調査の結果から、給食時間に必要なルールを考え、実践の意欲付けを行いた

い。そのとき、調査結果と原因の究明、ルールの条件については学級担任が指導を行う。ルールの内容を考える際には、学級全体で考えるという意識を持たせるため、計画委員が司会進行を務めるようにする。事後の活動では、2週間程度の実践を行う。毎日帰りの会でふり返りを行い、よかった点やよくなかった点を出させ、記録させておく。2週間後に行うふり返りは時間をとりじっくりと考えさせたい。反省点や課題からルールの見直しをし、学級のだれもが守れる改善されたルールとなるようにつなげさせたい。また、学校生活の他の観点にもルールづくりを行ったらいいものはないかを考えられるようにしていきたい。

3 目標

- 給食時間の過ごし方の改善点について、進んで話し合ったり、ルールを守ろうと実践しようとしている。 (関心・意欲・態度)
- 友だちと話し合ったり、普段の給食時間の様子を想像したりしながら、ルールが現実的な内容か考えることができる。 (思考・判断)
- 学級で決まったルールを自分なりに守ろうとすることができる。 (表現・技能)
- よりよい学級となるために、ルールを遵守することの意義がわかる。 (知識・理解)

4 指導計画

過程	児童の活動	指導上の留意点	日時
事前	1 給食時間についてのアンケートを行う。	○ 準備、食事、後片付けの3場面に分けることと、給食当番のときと当番でないときなど立場を変えて考えさせる。	9月25日(金) 朝タイム
	2 道徳の時間において、「規範意識」についての学習をする。	◎ 規則やきまりの意義について考えさせる。(規範意識)	10月14日(水) 5校時
	3 計画委員会を開き、アンケート結果から、学級のルールとして話合いの柱を考える。	○ 問題点を整理し、改善していかなければいけないことを絞り込み、話合いの柱を立てるようにする。	10月14日(水) 昼休み
	4 自分の考えを個人ノートに記入する。	○ 改善するアイデアを書かせるため、「～しない」ではなく、「～するようにしよう」などの表現となるように助言する。	10月15日(木)
事中 (本時)	題材名「給食時間を見直そう～6の1ルールをつくろう!～」 1 給食時間を見つめ直し、6の1ルールをつくる。	○ ルールづくりは、自分のため、自分たちのためという意識を持たせるために、話合いの場面では計画委員が中心となって進めるようにする。	10月16日 5校時
事後	1 ルールを実践する。	○ ふり返りカードを用意し、帰りの会のときによかった点、よくなかった点をふり返られるようにする。	10月19日～
	2 2週間後にふり返りを行う	○ ルールの良い点とよくなかった	10月30日(金)

い、ルールについての見直しをする。	点を整理し、必要によってはルールの改 行い、次の実践につなげ習 できるようにする。	5 校時
-------------------	---	------

5 本時

本時 平成21年1 月16日(金) 第5校時 第6学年 教

(1)ねらい

- 給食時間についての問題点を改善しようという意識をもち、進んで解決しようとしている。 (関心・意欲・態度)
- ルールの条件について理解し、友だちの考えのいいところも取り入れながら学級に必要なルールについて考えることができる。 (思考・判断)

(2)活動計画

児童の活動	○指導上の留意点 ◎社会性を育成する手立て
1 めあての をする。 (1)給食についてのアンケート結果により問題の把握をする。 (2)原因について考え、理想の給食時間について考える。 (3)めあてをつかむ。	○ アンケートの結果を整理し、学級の実態を的に えられるように して する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">給食時間を見つめなおし、6の1 ルルールをつくろう。</div>	
2 給食時間のルールについて話し合う。 (1)ルールづくりの条件について考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 現実的に 能なルールか ・ どの立場の人のことも考えているか ・ 全員が守れるルールか (2)計画委員会から提案を く。 (3)ルールについて話し合う。 (4)決まったことの をする。	○ アンケート結果から、ルールを作る必要のあるものを事前に しておき、計画委員会からの提案という形で話し合いを進める。 ○ (1)のルールの条件については教師が進め、(3)のルールづくりは、計画委員会が司会と記録を め、話し合いを進めるようにする。 ◎ 一方のみが をしていたり、 意見が尊重されていなかったりした場合は、す に指導助言し、 考を す。(協調性) ◎ 自らが折り合いをつけた発言や友だちの意見を いて自らの意見を取り げたり、自らの意見を変えたりした発言をした児童には、その発言を する。(人権尊重)
3 給食時間における、6の1 ルルールを考える。	○ 本校の給食指導実 案にある、手順を提示し、決まったルールをどこに入れるか、どこをルールに置き えるかについて考えさせる。
4 生の話を く。	○ ルルールを考えることができたことを し、学級の中で他にも変えていきたいところがある場合はこれからも 題箱を活用することを える。
5 日の学習をふり返る。	

- 給食時間の過ごし方の改善点について、進んで話し合ったり、ルールを守ろうと実践しようとしていたか。 (関心・意欲・態度)
- 友だちと話し合ったり、普段の給食時間の様子を想像したりしながら、ルールが現実的な内容か考えることができたか。 (思考・判断)
- 学級で決まったルールを自分なりに守ろうとすることができたか。 (表現・技能)
- よりよい学級となるために、ルールを遵守することの意義がわかったか。(知識・理解)